故郷（ふるさと）野付の自然２５

アリスイ発見！！

野付半島のハマナスの灌木で「アリスイ」を発見しました。「アリスイ」は実はキツツキの仲間ですが、名前の蟻吸い（ありすい）通り、主にアリを専門に食べる変わった習性を持っています。

この日も口一杯にアリの成虫、幼虫、さなぎを咥えていました。ちょっとグロテスクですね。

動きは鳥類というより、動きや色合いも含め、ハチュウ類的です。尾岱沼や野付では毎年、繁殖のために本州から夏鳥としてやってきます。

ハマナスが満開です

野付半島の海岸沿いの砂丘は、ハマナスの赤い花が満開の見頃を迎えています。また、その近くでは、バラの花の香りに似た甘い匂いが漂っています。

そのハマナスの丘では、南から渡ってきた様々な小鳥たちが盛んに鳴き交わし、一年で最も生命力に満ち溢れた、野付の短い初夏を迎えています。